

記入例③ 一括徴収  
 【退職等で残りの税額を一括徴収（特別徴収義務者が徴収し、本人に代わって納税）する場合】

給与支払報告に係る給与所得者異動届出書  
 特別徴収

市川市長殿 令和〇年〇月〇日提出		所在地 〒272-8501 市川市八幡〇-〇-〇	特別徴収義務者 指定番号 000000	宛名番号 1	1. 現年度 2. 新年度 3. 両年度		
フリガナ イチカワ イチロウ		フリガナ カブシキガイシャ イチカワシ	属 給与 大柏 花子				
氏名又は名称 株式会社 市川市		個人番号 又は法人番号 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	特別徴収義務者ごとに 設定しています。 「市民税・県民税特別徴収 税額の決定・変更通知書」 を参照してください。		047-000-0000 内線 ( )		
給与 所得者	フリガナ イチカワ イチロウ	(ア) 特別徴収税額 (年税額)	(イ) 徴収済額	(ウ) 未徴収税額 (ア)-(イ)	異 年 月 日	異動後の未徴収 税額の徴収方法	
	氏名 市川 一郎						
	生年月日 S・H 〇〇年 〇〇月 〇〇日	6 月から 10 月まで	11 月から 5 月まで	2021 年 10 月 31 日	1. 退職 2. 転職 3. 休職 4. 死亡 5. 支払 6. 合併 7. 住所 8. その他 [事由・理由]		
	個人番号 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	120,000 円	50,000 円	70,000 円			1
	受給者番号 (任意)						
1月1日 現在の住所	1. 特別徴収継続 2. 一括徴収 3. 普通徴収 (本人納付)						
異動後の 住所							

1. 特別徴収継続の場合

新しい勤務先へは、月割額_____円を _____月分(翌月10日納入期限分)から 徴収し、納入するよう連絡済みです。	受給者番号 (任意)
納入書の要否 (新規の場合のみ記載)	右から 番号を 記入 1. 必要 2. 不要

10月末で退職した給与所得者の残りの税額を10月分一括徴収して納入する場合。  
 (ア) 特別徴収税額 (年税額) 120,000円 (〇年6月~〇年5月分)  
 (イ) 徴収済額 50,000円 (〇年6月~〇年10月分)  
 (ウ) 未徴収税額 70,000円 (〇年11月~〇年5月分)  
 ↑一括徴収額 (納入額と同額)

2. 一括徴収の場合

理由 1. 異動が令和3年12月31日までで、一括徴収の申出があったため 2. 異動が令和 年1月1日以降で、特別徴収の継続の申出がないため	徴収予定月日 10 月 31 日	徴収予定額 (上記(ウ)と同額) 70,000 円	左記の一括徴収した税額は、 10 月分(翌月10日納入期限分)で 納入します。
--	---------------------	---------------------------------	---

3. 普通徴収の場合

理由 1. 異動が令和 年12月31日までで、一括徴収の申出がないため 2. 令和 年5月31日までに支払われるべき給与又は退職手当等の額が未徴収税額(ウ)以下で 3. 死亡による退職であるため	一括で徴収した税額を納入する月 ※1月以降の退職の場合は、一括徴収が原則となります。
--	---